

事業種類	主要な道路の整備		事業名	道路改築				
市町村名	飯田市	ふりがな 箇所名	(国)256号	しもひさかた 下久堅バイパス	事業年度 (完了年度は見込み)	26年度～	33年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	道路築造工 L=3,200m、w=6.0(7.5～9.75)m (うちトンネル1箇所、橋梁3橋)		5,000,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	測量調査設計 1式		80,000	48,000		28,800	3,200
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	計画交通量	<input type="checkbox"/> 10,000台/日以上	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台以上～10,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	10	0.3	24
		代替道路	<input type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/> 代替となる道路がある	<input type="checkbox"/>	0		
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> 駅やインターチェンジが20km以内にある	<input type="checkbox"/> 駅やインターチェンジが20km以上にある	<input type="checkbox"/> 駅やインターチェンジに通じる路線でない	15		
			<input type="checkbox"/> 通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である	<input checked="" type="checkbox"/> 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する	<input type="checkbox"/> 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない	15		
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路ではない	<input type="checkbox"/>	10		
			<input checked="" type="checkbox"/> 5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上6.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/> 6.5m以上(幅員)	15		
	小計					80		
	重要性	関連計画との整合	<input checked="" type="checkbox"/> 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)	<input type="checkbox"/> 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)	<input type="checkbox"/> 該当なし	40	0.15	13
		設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされ確実性が高い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされているが確実性が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をしていない	25		
地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけはない	20			
小計					85			
効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C 1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C 1.0未満		20	0.15	11	
	事業効果の早期発現(事業年数)	<input type="checkbox"/> 事業年数 5年未満	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 5年～10年未満	<input type="checkbox"/> 事業年数 10年以上	20			
	コスト削減	<input type="checkbox"/> 全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している	<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない	30			
小計					70			
緊急性	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険がない	30	0.2	16	
	各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	<input type="checkbox"/> 主要渋滞箇所又は騒音・振動箇所が緩和する	<input checked="" type="checkbox"/> 主要渋滞箇所又は騒音・振動箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する	<input type="checkbox"/> 渋滞対策又は騒音・振動対策ではない	25			
		<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に関係ない道路	25			
小計					80			
計画熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	35	0.2	16	
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	25			
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない	20			
小計					80			
費用対効果(B/C)		1.1		評価の合計			80	
事業周知	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)256号は、岐阜市を起点として、飯田市上村に至り、県南部を東西に横断する広域的幹線道路である。また、平成28年度以降に供用が予定される三遠南信自動車道飯田東ICと直結する路線であるが、事業区間は幅員狭小、線形不良箇所が存在する交通のネック箇所となっており、人家連担地区等を迂回するバイパス整備が求められている。						
	地域からの要望経緯	飯田市(H24.9.24)、下伊那土木振興会(H24.4.17)、(国)256期成同盟会(H24.7.25)、三遠南信自動車道建設促進飯田市九地区期成同盟会(H24.8.6)、上久堅・下久堅・松尾地区R256改良促進連絡協議会(H24.8.2)などが、毎年、要望、提言を行っている。また、下久堅地区まちづくり委員会では、平成25年5月から地区回覧を行い、関係者以外にも広く周知している。						
	事業説明等の経緯	平成24年6月18日に役員説明会、同年8月6日から10月30まで8回地区住民に説明会を実施。また、継続して個別に相談会を実施している。						
	環境・景観への配慮項目	景観に配慮した工法を取り入れるとともに、地形改変面積を少なくし、盛土及び切土区間では土羽構造を多用し、法面植生により景観に配慮する計画を検討する。環境配慮制度対象箇所						
	他事業・プロジェクトとの関連	三遠南信自動車道 長野県総合5か年計画(事業着手)						
	特記事項	下久堅まちづくり委員会及び下久堅地区基本構想策定委員会が中心となり、地元役員、PTA等関係者により作成した基本構想に記載あり(第8次下久堅基本構想(2013～2017) 整備促進箇所)						
地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成		<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成		<input type="checkbox"/> 過半数賛成		<input type="checkbox"/> 動向不明	
部意見	事業の必要性、効率性が高いため、平成26年度から新規事業化したい。			行政改革課 意見	飯田市内と飯田東ICを結ぶ道路。現道は幅員狭小、線形不良であり円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。			
長野県公共事業評価監視委員会意見		県の自己評価は妥当と判断する。						